

# HOWS

(略称: ハウズ)  
2019年度前期 変革のための共学の広場

## 本郷文化フォーラム ワーカーズスクール

- 2019年度前期(5月～9月・8シリーズ33講座)
- ◆朝鮮半島からみた日本の歴史
- ◆握りくさされる憲法秩序と象徴天皇制
- ◆階級消滅論・階級協調幻想を打ち砕こう!
- ◆大西巨人『神聖喜劇』を読む
- ◆インターナショナルな思想を学ぼう! 諸国人民の経験から学ぼう!
- ◆世界の短編小説を読む
- ◆映像を通して考える現代社会
- ◆この人にきく

弁証法をたたえる  
不正がまかりとおっている。  
抑圧の千年計画が立っている。  
暴力が請けあう、何も変らねえぞ。  
ひびく声は支配者の声だけで  
市場では搾取がかなる、本番はこれから。  
しかも被支配者の多くがいつている、  
ほくらののぞむことはできっこない。

生きているかぎり、できっこないとはいうな!  
堅固なものも堅固ではない。  
変わらずにいるものはない。  
支配者がしゃべりおえれば  
被支配者が口をひらくのだ  
なんで、できっこない、などというのか?  
圧政が続くなら誰のせいだ? ほくたちのだ。  
それが打ち砕かれるなら? やはりほくたちのだ。  
うちのめされるままにまかせず、立ちあがれ!  
途方にくれていず、たたかえ!  
状況を把握していれば、阻む何があるのか?  
思え、きょうの敗者はあすの勝者、  
できっこないは、きょうのうちにも! となる。  
(B・プレヒト作 野村修訳)



国際婦人デー3・9東京集会の様子

- ### HOWS 講師一覧
- 〈文化・芸術・思想〉  
秋葉 裕一(早稲田大学教授・プロ研究者)  
浅野 健一(ジャーナリスト・元同志社大学教授)  
雨宮 処凛(作家)  
天羽 憲治(日本音楽著作権協会専任部長)  
荒井 晴彦(脚本家・映画監督)  
荒川 源吾(歌手、元古河電産労連文学サークル)  
石川 逸子(詩人)  
石橋 正孝(文芸評論家)  
井土 紀州(脚本家・映画監督)  
井野 茂雄(文化活動家)  
井野 博満(金属材料学・原子力問題・環境問題)  
井上 修(ビデオクリエイター)  
今中 哲二(京都大学原子炉実験所助教)  
梅田 正己(高文研前代表、書籍編集者、歴史研究者)  
太田 雄(ジャーナリスト)  
大西 赤人(作家)  
岡本 有佳(編集者)  
小沢 信男(作家)  
及部 克人(武蔵野美大名教授・デザイン)  
金山 明子(画家)  
山崎 政紀(作家)  
鎌田 哲哉(『重力』編集会議)  
木下 昌明(映画評論家)  
木村 文洋(映画監督)  
木村 哲央(国際高麗学会理事、哲学博士)  
熊本 一規(明治学院大学教授)  
棚沢 健(文芸評論家)  
粉川 哲夫(メディア論)  
小松 厚子(編集者・群読)  
斎藤 貴男(評論家・ルポライター)  
繁男(美術ドキュメンタリスト)  
笹山 久三(作家・元郵政労働者)  
清水 勲(漫画・劇画史研究家)  
白井 佳夫(映画評論家)  
紺 秀実(文芸評論家)  
菅井 益郎(医学大学教授・市民エネルギー研究所)  
関谷 興一(陶板作家、益子 朝露館館長)  
徐 京 植(作家)  
高橋 哲哉(東京大学教授・哲学)  
田代 ゆき(出版労働者)  
立野 正裕(元明治大学教員・英文学)  
谷口源太郎(スポーツジャーナリスト)  
植田 敦(物理学者・核開発に反対する会代表)  
土屋トカチ(ビデオ制作者)  
中西新太郎(慶応義塾大学学芸員)  
中野 敏男(東京外国語大学名誉教授)  
な す び(『労働を考ふるまじ』著者)  
西垣 泰子(明星大学名誉教授・デザイン)  
朴 英二(『蒼のシンフォニー』監督)  
長谷川 宏(哲学者・ヘーゲル研究)  
長谷川 龍生(詩人)  
羽仁 進(映画監督)  
樋口 健二(写真家)  
日暮 聖(元法政大学教授・国文学)  
日夏 露彦(美術評論家)  
下 宰 洸(元朝野大学教授・『脱・ロシア文学研究』)  
平松 利昭(画家)  
古川 美佳(韓国美術・文化研究)  
古田 武(文化活動家)  
松田 政男(映画評論家)  
丸川 哲史(明治大学教員・評論家)  
三宅 晶子(千葉大教員・ドイツ文化論)

- 矢ヶ崎 克馬(琉球大学名誉教授)  
八木 啓代(歌手・作家・プロデューサー)  
安川 寿之輔(名古屋大学名誉教授)  
安田 浩一(ジャーナリスト)  
柳田 真(たんぼぼ舎)  
矢野 静明(画家)  
山口 直孝(二松学舎大学教員)  
山口 正紀(ジャーナリスト)  
小崎 久隆(たんぼぼ舎)  
吉留 要(画家)  
乱 鬼 龍(文化活動家)  
李 英 哲(朝鮮大学校教員)
- 〈政治・経済・労働〉  
青木 秀樹(弁護士)  
浅井 春夫(立教大学名誉教授)  
浅井 基文(国際問題研究者)  
朝生 進(全農林労働組合分会役員)  
渥美 博(編集者)  
新垣 毅(『琉球新報』記者)  
新崎 盛吾(元新聞労連委員長)  
李 泳 采(恵泉女学園大学教員)  
飯島 滋明(元国際労働局局長)  
飯塚 勇(全厚生労働組合前執行委員長)  
井口 秀作(愛媛大学教授)  
池田 実(福島原発元作業員)  
池宮城 紀夫(弁護士)  
板垣 雄三(東京大学名誉教授)  
伊藤 彰信(元全港湾労委員長)  
伊藤 拓也(学校事務職員労働組合神奈川)  
岩下 雅裕(朝日労働争議委員会)  
上杉 聡(日本の戦争責任資料センター事務局長)  
忍 忍(横浜市立大学名誉教授)  
植村 隆(『朝日新聞』記者)  
内田 妙子(『毎日新聞』記者)  
内田 浩(出版労連書記次長)  
内田 雅敏(『労働争議』1000人委員会事務局長)  
昭子(ノンフィクションライター・女性史研究者)  
興一郎(元全国一般労働組合副執行委員長)  
常夫(元労働組合中央支援委員長)  
和博(国際政治研究)  
海渡 雄一(弁護士)  
柿山 朗(元海員組合全国委員元外航船長)  
笠原 九司(都留文科大学名誉教授)  
片山 夏子(『東京新聞』記者)  
加藤 晋介(弁護士)  
金澤 壽(前全国労働組合連絡協議会議長)  
茉莉(元戦争孤児の会代表)  
孝夫(埼玉大学名誉教授・経済)  
鴨 桃代(全国ユニオニオン連合会・元会長)  
唐沢 武臣(前国労本部書記長)  
河添 誠(元首都圏青年ユニオン)  
北 健一(ジャーナリスト)  
木田 節子(朝日大震災で被災、福島からの原発避難者)  
北川 広和(『日韓分析』編集人)  
金 志 永(『朝鮮新報』局長)  
金 静 寅(日本朝鮮人権協会)  
金 東 鶴(日本朝鮮人権協会)  
木村 辰彦(沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック)  
木村 英亮(横浜国立大学名誉教授)  
吉良 紀子(元全労連)  
吉野 正晴(自営業)  
國枝 孝幸(全厚生闘争団事務局次長)  
久保 孝雄(神奈川県日中友好協会名誉顧問)

- 倉沢 愛子(慶應義塾大学名誉教授)  
倉林 誠(国労高崎地本書記長)  
栗原 君子(元参議院議員)  
黒田 節子(原発いらない福島の人たち)  
綿織 厚(山口大学名誉教授)  
國分 富夫(『福島原発被害者相互の会』会長)  
古志 峻(朝鮮問題研究)  
古関 彰一(獨協大学名誉教授)  
小林 春彦(元国労千葉地本委員長)  
小森 龍邦(部落解放同盟広島県連顧問)  
小谷野 毅(全日本建設運輸連帯労組書記長)  
近藤 和樹(日本社会主義青年同盟委員長)  
在間 秀和(弁護士)  
坂本 修(弁護士)  
佐久間 誠(元建設労働争議委員長)  
佐々木史朗(全統一労働組合書記長)  
佐々木辰夫(アジア近現代史研究)  
佐野 通夫(こども教育宝仙大学教授)  
篠原 義仁(弁護士)  
清水 早子(『労働争議』編集委員)  
下見 竜章(『伝送便』編集委員)  
東海林 智(『毎日新聞』記者)  
慎 春 宇(法政大学教員)  
杉原 泰雄(一橋大学名誉教授・憲法)  
鈴木 圭子(JAL不当解雇裁判原告団事務局長)  
須田 光照(元全労連協議会東京支部書記長)  
須見 正昭(元専修大学教員)  
瀬戸 宏(大阪摂南大学名誉教授)  
高井 潔司(桜美林大学教授)  
高里 鈴代(基地と軍隊を許さない女たちの会)  
高嶋 伸欣(琉球大学名誉教授・社会科教育)  
高橋 俊次(『労働争議』編集委員)  
高橋 美香(フォト・ジャーナリスト)  
高良 鉄美(琉球大学法科大学院教授)  
滝野 忠(『社会通信』発行人)  
滝本 匠(『琉球新報』記者)  
武井 美子(女性問題研究・編集者)  
竹見 智恵子(ジャーナリスト)  
田端 博邦(元東京大学社会科学研究所教授)  
俵 義文(子どもと教科書全国ネット21事務局長)  
蔡 萬 洙(韓国・労働社会科学研究所元所長)  
崔 権 一(元大阪朝鮮高級学校教員)  
鄭 榮 桓(明治学院大学教員)  
津田 憲一(元神奈川県中学校教員)  
土田 宏樹(『伝送便』編集委員)  
問山 栄恵(『琉球新報』記者)  
徳住 聖治(弁護士)  
富山 栄子(国際交流平和フォーラム代表)  
鳥井 一平(全統一労働組合副委員長)  
仲井間 郁江(『琉球新報』記者)  
中島 浩(元全統一労働組合)

- 中原 純子(全労連全国一般東京労組アドバイザー)  
中原 道子(『戦争と女性への暴力』)  
中村 美彦(元千葉高教組書記長)  
齋 一郎(弁護士)  
西川 重則(平和遺族会全国連絡会代表)  
西崎 雅夫(『国家責任を争う』編集委員)  
西野 瑠 美子(ルポライター・作家)  
二瓶 久勝(元国鉄闘争共闘会議議長)  
萩尾 健太(弁護士)  
朴 南 仁(在日韓国民民主統一連合)  
長谷川 三郎(部落解放同盟東京都連書記長)  
足田 哲也(元日本社会主義青年同盟)  
日比野 敏陽(『京都新聞』記者)  
平賀 健一郎(元中小労組政策ネットワーク事務局長)  
平坂 春雄(元全港湾西地本書記長)  
藤本 愛子(国公労連)  
藤原 晃(神奈川県高教組組合員)  
白 宗 元(歴史学博士)  
白 喆 鉉(韓国・全国労働者政治協会)  
外間 三枝子(沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック共同代表)  
星野 良明(元国鉄闘争共闘会議副議長)  
堀川 久司(前千葉高教組委員長)  
本田 由紀(東京大学大学院教授)  
前田 朗(東京造形大学教授・刑法)  
松沢 弘(反リストラ産経労組委員長)  
松村 比奈子(首都圏大学非常勤講師組合委員長)  
松元 剛(『琉球新報』記者)  
水島 朝穂(早稲田大学教授)  
宮川 敏一(元京成電鉄労組書記長)  
宮里 邦雄(労働運動家)  
村田 忠福(横浜国立大学名誉教授)  
村中 哲也(元日本乗員組合連絡会議)  
元山 泰 勝(朝鮮大学校政経学部教員)  
元山 仁 士郎(『労働争議』編集委員)  
安田 和也(第五福竜丸展示館主任学芸員)  
幸弘(JCA-NET)  
山下 勇男(社会主義理論研究)  
山田 勇(労働運動家)  
山中 耕一(全労連)  
山本 英夫(フォトグラファー)  
柚木 康子(全労連)  
横田 耕一(全労連)  
吉沢 弘志(埼玉大学教員)  
吉田 康彦(国際問題評論家)  
吉田 裕(一橋大学大学院教授)  
吉原 節夫(元『国際労働運動』編集長)  
米倉 外昭(『琉球新報』記者)  
李 春 琦(弁護士)  
李 東 琦(ジャーナリスト)  
渡辺 厚子(大泉ブラス裁判原告)  
渡辺 治(一橋大学名誉教授・政治学)

### HOWS

(本郷文化フォーラム ワーカーズスクール)  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-10 飯島ビル1階 小川町企画内  
TEL.03 (5804) 1656 FAX.03 (5804) 1609  
URL=http://www.hows.jp.or.jp  
e-mail=hows@dream.ocn.ne.jp  
郵便振替 00140-5-186275 口座名称 HOWS

## HOWSで学ぼう 抵抗と変革を志すひとびとへ

●主体的に、物事を突き詰めて考えて行く場としてのHOWS  
2019年度前期のHOWSは、天皇代替わりが作りだす大波に抗してはじまります。すでにマスメディアを中心に「令和」礼賛ムードが醸成されています。そのようなときこそ、いっそう知性の眼を見開かねばなりません。  
ことし二月、文喜相韓国国会議長は、「戦争犯罪の主犯」である昭和天皇の息子・平成天皇に、被害当事者へ謝罪することを求めました。日本政府はこの発言を「甚だしく不適切」「極めて遺憾」と表明しました。しかし、何がどう「不適切」なのかは言及しませんでした。なぜなら「不適切」であることの証明は、昭和天皇に戦争責任のないことを明らかにするほかないからです。かれらは戦争責任が問題化されることを恐れたのです。  
この事実が示すように、抑圧体制は自国民が思考することを憎みます。支配階級にとって天皇制の存続が切実至上であるのは、天皇という象徴を戴く限り、思考の及ぶことの不可能な領域を少なくとも一つは確保することができるからです。

かつて作家の大西巨人氏は、現代の問題を「戦争体験の風化」に即して語ったことがあります。そこで大西氏は、ほんとうに恐れるべきは「物事を突き詰めてまともに考えて行くこと」の風化であることを述べました。HOWSは多様な講座を企画していますが、いずれの講座にも共通するのは、この「物事を突き詰めてまともに考えて行く」姿勢です。  
今期から、「朝鮮半島からみた日本の歴史」と題して、康成銀氏を講師に招き連続講座をもちます。わたしたちは、歴史と文化すなわち人間の営みが、孤立したものでないことを学ぶはずで、「わが国固有の文化」というまやかしを知り、同時にその虚偽を暴力によって朝鮮の人のびとに強制させてきた日本の歴史に直面するでしょう。

## HOWS

本郷文化フォーラム  
ワーカーズスクール

2019年度前期講座 5月11日(土)～9月28日(土)  
平日 PM6:45～9:15  
土曜 PM1:00～4:30

- 2019年度前期開講講座  
5月11日(土) 3・1独立運動100年と朝鮮半島のいま  
——連続講座「朝鮮半島からみた日本の歴史」開催にあたって  
講師=康成銀(朝鮮大学校朝鮮問題研究センター長)
- 5月18日(土) 日本国憲法と天皇制  
——「代替わり」騒ぎのなかで改めて考える  
講師=清水雅彦(日本体育大学教授・憲法学)
- 5月22日(水) ジェゼップ・トマージ・ディ・ランペドゥーザ作  
「幼年時代の場所」  
講師=立野正裕(元明治大学教員)
- 5月29日(水) 第五部 雑草の章  
——「道義および公正」の模索 (光文社文庫版第三巻)  
報告=杉山雄大
- 6月1日(土) 労働組合で取り組む日朝連帯活動  
——群馬の森・朝鮮人強制連行犠牲者追悼裁判に取組んで  
講師=倉林 誠(国労高崎地本書記長)
- 6月5日(水) ジョヴァンニ・ヴェルガ作  
「金の鍵」「ルーバ」  
講師=立野正裕(元明治大学教員)
- 6月12日(水) 朝鮮と日本の住民の成り立ち、  
倭の王権と朝鮮(高句麗、百濟、新羅、伽耶)  
講師=康成銀(朝鮮大学校朝鮮問題研究センター長)

